

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成23年7月13日
【四半期会計期間】	第26期第3四半期（自平成23年3月1日至平成23年5月31日）
【会社名】	株式会社クロタニコーポレーション
【英訳名】	Kurotani Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒谷 純久
【本店の所在の場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 井上 亮一
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 井上 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第3四半期 累計期間	第26期 第3四半期 会計期間	第25期
会計期間	自平成22年 9月1日 至平成23年 5月31日	自平成23年 3月1日 至平成23年 5月31日	自平成21年 9月1日 至平成22年 8月31日
売上高(千円)	40,589,903	13,583,904	48,319,000
経常利益(千円)	2,137,614	553,066	1,175,354
四半期(当期)純利益(千円)	1,154,142	298,270	645,934
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	499,800	499,800
発行済株式総数(株)	-	7,000,000	7,000
純資産額(千円)	-	5,843,074	4,735,246
総資産額(千円)	-	15,610,684	14,439,594
1株当たり純資産額(円)	-	969.32	785,541.82
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	191.46	49.48	107,637.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	10,000.00
自己資本比率(%)	-	37.4	32.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	266,774	-	624,218
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	68,796	-	236,713
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	641,667	-	520,782
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	1,158,186	2,137,681
従業員数(人)	-	125	120

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関係会社がないため、記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 当四半期報告書は、第3四半期に係る最初に提出する四半期報告書であるため、第25期第3四半期累計期間及び第25期第3四半期会計期間を記載しておりません。

6. 当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の第25期の発行済株式総数は7,000,000株、1株当たり純資産額は785.54円、1株当たり当期純利益金額は107.64円、1株当たり配当額は10円となります。

2【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成23年5月31日現在

従業員数(人)	125
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。)であります。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当社はインゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業の他に、美術工芸品の製造販売を行っておりますが、非鉄金属事業の割合が高く、セグメント情報の開示を省略しているため、生産、受注及び販売の状況については、品目別に記載しております。

(1) 生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
インゴット (千円)	7,004,423

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. スクラップについては、選別、プレスといった加工作業を主としており、生産実績がないため記載を省略しております。

4. その他については生産実績はございますが、金額が僅少であるため、記載を省略しております。

(2) 受注状況

当社は受注生産と見込生産を併用しており、両者を明確に区別することが困難であること、また、非鉄金属相場等の市況は日々変動し四半期末日時点における受注高及び受注残高を合理的に算定することが困難であることから、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
インゴット (千円)	6,598,305
スクラップ (千円)	6,819,700
その他 (千円)	165,899
合計 (千円)	13,583,904

(注) 1. 当第3四半期会計期間における主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。

なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
アジア	3,451,140	93.6
ヨーロッパ	209,638	5.7
その他	27,569	0.7
合計	3,688,349 (27.2%)	100.0

(注) 各区分に属する主な国または地域は次のとおりであります。

- (1) アジア : 韓国、中国、タイ等
- (2) ヨーロッパ : スイス等
- (3) その他 : オーストラリア等

2. 当第3四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
現代重工業(韓国)	1,856,907	13.7
ナカシマプロペラ株式会社	1,295,223	9.5

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期会計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、平成23年5月6日に提出した有価証券届出書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期会計期間における世界経済は、米国における雇用環境や住宅関連投資がやや悪化傾向を示したことやEUのソプリリスクも強まったことから、停滞感を強めました。加えて、ブラジル、インド、中国等の新興国は、全体的には経済成長は持続しているものの、インフレ抑制のための金融引き締め策により成長の減速傾向が見られました。

一方、我が国経済は、3月11日に東日本大震災が発生したことにより、社会インフラや生産設備への悪影響からサプライチェーンが破壊され、また、原発事故の影響、電力不足、消費マインドの低下も加わって大きく悪化しました。このような世界経済・国内経済の動向から、第3四半期会計期間における当社を取り巻く環境は、震災による当社の生産設備への影響はありませんでしたが、東北地方とのスクラップの仕入れ・販売に影響いたしました。しかし、引き続きロンドン金属取引所の銅価格が高値圏で推移したことにより、当社業績は売上高135億83百万円、営業利益5億87百万円、経常利益5億53百万円、四半期純利益2億98百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は11億58百万円となり、第2四半期会計期間末より4億29百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間における営業活動による資金は3億81百万円の増加となりました。これは主な収入として税引前四半期純利益5億53百万円、売上債権の減少4億74百万円であり、主な支出として未収消費税等の増加1億21百万円、法人税等の支払2億72百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間における投資活動による資金は16百万円の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間における財務活動による資金は65百万円の増加となりました。これは主な収入として短期借入金の純増額8億円、長期借入れによる収入5億円によるものであり、主な支出としては長期借入金の返済による支出2億34百万円、社債の償還による支出10億円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期会計期間における研究開発活動の金額はございません。

なお、当第3四半期会計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成23年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,000,000	7,168,600	東京証券取引所 (市場第二部)	1単元の株式数は100株であります。普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式であります。
計	7,000,000	7,168,600	-	-

(注) 当社株式は平成23年6月9日付で、東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年4月1日 (注)1	6,993,000	7,000,000	-	499,800	-	199,451

(注) 1. 株式分割(1:1,000)によるものであります。

2. 平成23年7月8日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当を行ったことにより、発行済株式総数が168,600株、資本金及び資本準備金がそれぞれ93,573千円増加しております。

(6)【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大株主の異動はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 972,000	-	権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,028,000	60,280	同上
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	7,000,000	-	-
総株主の議決権	-	60,280	-

【自己株式等】

平成23年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社クロタニコーポレーション	富山県射水市奈呉の江12番地の2	972,000	-	972,000	13.89
計	-	972,000	-	972,000	13.89

2【株価の推移】

当社株式は平成23年6月9日付で、東京証券取引所市場第二部に上場いたしましたので、それ以前の株価については該当事項はありません。

3【役員の状況】

有価証券届出書提出後、本書提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、当四半期報告書は、第3四半期に係る最初に提出する四半期報告書であるため、前年同四半期との対比は行っておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成23年3月1日から平成23年5月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成22年9月1日から平成23年5月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,853,942	2,836,100
受取手形及び売掛金	6,837,287	5,438,249
商品及び製品	902,832	351,411
仕掛品	124,059	127,072
原材料及び貯蔵品	1,438,555	1,200,194
その他	1,356,580	1,322,265
流動資産合計	12,513,257	11,275,293
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	830,756	900,585
有形固定資産合計	2,351,878	2,421,707
無形固定資産	72,164	90,698
投資その他の資産	673,383	651,894
固定資産合計	3,097,426	3,164,300
資産合計	15,610,684	14,439,594

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,659,673	1,289,158
短期借入金	3,350,000	3,650,000
1年内償還予定の社債	570,000	1,570,000
1年内返済予定の長期借入金	863,003	831,908
未払法人税等	755,980	450,924
引当金	61,232	12,491
その他	313,995	394,533
流動負債合計	7,573,885	8,199,015
固定負債		
社債	80,000	115,000
長期借入金	2,046,303	1,323,785
引当金	67,420	66,547
固定負債合計	2,193,723	1,505,332
負債合計	9,767,609	9,704,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	499,800	499,800
資本剰余金	308,060	308,060
利益剰余金	5,453,279	4,359,416
自己株式	388,071	388,071
株主資本合計	5,873,068	4,779,205
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,993	43,959
評価・換算差額等合計	29,993	43,959
純資産合計	5,843,074	4,735,246
負債純資産合計	15,610,684	14,439,594

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)
売上高	40,589,903
売上原価	37,430,412
売上総利益	3,159,490
販売費及び一般管理費	877,061
営業利益	2,282,429
営業外収益	
受取利息	410
受取配当金	1,412
助成金収入	2,597
その他	7,415
営業外収益合計	11,836
営業外費用	
支払利息	74,485
デリバティブ運用損	27,381
為替差損	19,768
その他	35,015
営業外費用合計	156,651
経常利益	2,137,614
特別損失	
固定資産売却損	26
特別損失合計	26
税引前四半期純利益	2,137,588
法人税、住民税及び事業税	1,019,699
法人税等調整額	36,254
法人税等合計	983,445
四半期純利益	1,154,142

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	13,583,904
売上原価	12,704,230
売上総利益	879,673
販売費及び一般管理費	291,963
営業利益	587,710
営業外収益	
受取利息	103
デリバティブ運用益	3,755
その他	2,163
営業外収益合計	6,022
営業外費用	
支払利息	23,575
為替差損	368
株式公開費用	14,142
その他	2,579
営業外費用合計	40,666
経常利益	553,066
特別損失	
固定資産売却損	26
特別損失合計	26
税引前四半期純利益	553,040
法人税、住民税及び事業税	265,410
法人税等調整額	10,640
法人税等合計	254,770
四半期純利益	298,270

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	2,137,588
減価償却費	131,830
引当金の増減額(は減少)	49,614
受取利息及び受取配当金	1,822
支払利息	74,485
為替差損益(は益)	2,256
有形固定資産売却損益(は益)	26
売上債権の増減額(は増加)	1,399,037
たな卸資産の増減額(は増加)	786,769
仕入債務の増減額(は減少)	370,514
未収消費税等の増減額(は増加)	301,242
その他	354,181
小計	525,748
利息及び配当金の受取額	1,979
利息の支払額	80,678
法人税等の支払額	713,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	933,368
定期預金の払戻による収入	936,031
有形固定資産の取得による支出	58,326
有形固定資産の売却による収入	64
無形固定資産の取得による支出	4,931
投資有価証券の取得による支出	6,118
その他	2,149
投資活動によるキャッシュ・フロー	68,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	300,000
長期借入れによる収入	1,600,000
長期借入金の返済による支出	846,387
社債の償還による支出	1,035,000
配当金の支払額	60,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	641,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,256
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	979,494
現金及び現金同等物の期首残高	2,137,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,158,186

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間（自平成22年9月1日至平成23年5月31日）

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期累計期間（自平成22年9月1日至平成23年5月31日）

該当事項はありません。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期累計期間（自平成22年9月1日至平成23年5月31日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末 (平成22年8月31日)
有形固定資産の減価償却累計額は、3,514,955千円です。	有形固定資産の減価償却累計額は、3,411,818千円です。

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
販売諸掛	350,142千円
従業員給与及び賞与	133,880千円

当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
販売諸掛	112,240千円
従業員給与及び賞与	45,842千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年5月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	1,853,942
預入期間が3か月を超える定期預金	695,755
現金及び現金同等物	<u>1,158,186</u>

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成23年5月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成22年9月1日至平成23年5月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 7,000,000株(注)

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 972,000株(注)

(注) 当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月25日 定時株主総会	普通株式	60,280	10,000	平成22年8月31日	平成22年11月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成23年5月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得原価(千円)	四半期貸借対照表計上額 (千円)	差額(千円)
(1) 株式	409,381	372,409	36,972
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	99,902	86,550	13,351
合計	509,283	458,959	50,324

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成23年5月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第3四半期累計期間(自平成22年9月1日至平成23年5月31日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期会計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はインゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業の他に美術工芸品の製造販売を行っておりますが、非鉄金属事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成23年5月31日)		前事業年度末 (平成22年8月31日)	
1株当たり純資産額	969.32円	1株当たり純資産額	785,541.82円

(注) 当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合における前事業年度末の1株当たり純資産額は785.54円であります。

2. 1株当たり四半期純利益金額

当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	191.46円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	
四半期純利益(千円)	1,154,142
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,154,142
期中平均株式数(株)	6,028,000

当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	49.48円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	
四半期純利益(千円)	298,270
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	298,270
期中平均株式数(株)	6,028,000

(重要な後発事象)

当第3四半期会計期間
(自平成23年3月1日
至平成23年5月31日)

(重要な自己株式の処分)

当社は、平成23年5月6日付で株式会社東京証券取引所から有価証券新規上場承認通知書を受け、平成23年6月9日に同取引所市場第二部に上場いたしました。この上場にあたり、平成23年5月6日及び平成23年5月20日開催の取締役会決議に基づき、平成23年6月8日を払込期日とする募集による自己株式の処分を行ないました。

条件等は次のとおりであります。

1. 処分する株式の種類 当社普通株式
2. 処分する方法 引受人の買取引受による売出し
3. 処分する株式数 972,000株
4. 処分する価額 1株当たり1,110円
5. 処分価額の総額 1,078,920,000円
6. 処分日 平成23年6月8日
7. 資金の用途 発行諸費用の概算額6,000千円を除き、短期借入金の返済として946,920千円を平成23年6月に、本社工場の環境改善のための設備資金として126,000千円を平成23年10月に充当する予定であります。

(重要な新株の発行)

当社は、当社普通株式の東京証券取引所市場第二部への上場に伴う公募による募集株式発行並びに引受人の買取引受による株式売出しに関連して、平成23年5月6日及び平成23年5月20日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当による株式の発行を決議しておりました。当該決議に基づいて、当社は、以下のとおり、野村證券株式会社を割当先とした第三者割当による株式の発行を行い、平成23年7月8日に払込みが完了いたしました。

また、この結果、資本金残高は593,373千円、資本準備金残高は293,024千円、発行済株式総数は7,168,600株となっております。

1. 株式の種類及び数
普通株式 168,600株
2. 割当価格
1株につき 1,110円
3. 発行価額
1株につき 935円
この金額は会社法上の払込金額であり、平成23年5月20日開催の取締役会において決定された金額であります。
4. 資本組入額
1株につき 555円
5. 発行価額の総額
157,641千円
6. 資本組入額の総額
93,573千円
7. 割当価格の総額
187,146千円
8. 払込期日
平成23年7月8日
9. 割当先
野村證券株式会社
10. 資金の用途
短期借入金の返済として全額を充当する予定であります。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年7月8日

株式会社クロタニコーポレーション
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	上楽 光之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 博久	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クロタニコーポレーションの平成22年9月1日から平成23年8月31日までの第26期事業年度の第3四半期会計期間（平成23年3月1日から平成23年5月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成22年9月1日から平成23年5月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クロタニコーポレーションの平成23年5月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

- 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年5月6日及び平成23年5月20日開催の取締役会決議に基づき、平成23年6月8日を払込期日とする募集による自己株式の処分を行った。
- 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年5月6日及び平成23年5月20日開催の取締役会決議に基づき、平成23年7月8日を払込期日とするオーバーアロットメントによる株式の売出しにおける第三者割当増資を行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。